

令和3年度
認定NPO法人さわおとの森
事業・活動計算報告

令和3年度事業報告について・・・・・・・・・・ P 1

令和3年度活動計算報告について・・・・・・・・ P 3 5

令和3年度貸借対照表について・・・・・・・・ P 3 9

令和3年度財産目録について・・・・・・・・ P 4 0

令和3年度 認定NPO法人さわおとの森 事業報告

・法人事業の総括

令和3年度は、3年前から続いている世界的なコロナウイルス感染症流行の影響が当法人にも及びました。一施設一利用者の姉が通う幼稚園で感染者が出て、PCR検査の結果、その姉に陽性反応が出、さらに利用者である弟も陽性者となり、利用者のクラス8人と数人の職員が濃厚接触者の判定を受けて2日間休園としました。その後、職員全員のPCR検査の結果、全員が陰性で3日目から園を再開、徐々に通常の活動を取り戻すことが出来ました。今後においても地域ごとのオミクロン株、そして変異後の感染流行が現れてきているので、さらなる体温チェック、手指の消毒、マスク着用の基本ルールを厳守し、人との接触の機会を出来るだけ避ける方途を講じつつ、清潔実践に努めていきたいと思っています。

現在、法人さわおとの森は県と市町村指定の22事業、そして6つの委託事業を5つの事業所で実施運営しています。平成29年度に宮城東部地域2市3町から委託を受けて地域生活支援を行う地域拠点センター「ふきのとう」を、さらに同年、宮城県からの委託を受けて障害児等療育支援事業「あとれ」(宮城東部地域と、その後黒川1市2町1村のエリア)を立ち上げました。そして、心理職やり八職(OT、PT、ST)を配置しての活動実績が認められ、令和元年度からは宮城県の発達障害者地域支援マネージャー配置業務の指名委託を受けました。県内を7ブロックに分けたうちの1ブロック・仙塩黒川地区に当法人から2人の心理職を配置し、面接相談および行動観察等によるアセスメント、療育指導、関係諸機関の支援者への助言連携支援等、まさに地域発信の広域的な支援に向けて、ネットワーク構築と専門的な支援を実施しているところです。これらの委託事業は、県および市町から事業の実績を評価され、高額の専門職専従配任補助を受け、事業を推進しています。なお、新年度からこれまで県の児童相談所で実施してきた虐待を受けている、あるいは虞(おそれ)のある障害児の一時保護についてもその一部を受けることにしました。取り組み体制から研究、そして研鑽を積みながら実施運用していこうと考えています。

また、多機能サポートランドさわおとの森の移転建設に2年余を要しました。令和元年10月13日未明の台風19号の来襲で北斜面が崩落するという災禍に見舞われ、その復旧に職員一丸となって取り組み、安全の担保に努めました。これと並行して、さわおとの森再生プロジェクトを立ち上げ、施設整備、方向性について打ち合わせを重ねました。土砂災害防止法およびガケ条例の適用要否、地権者との話し合いを経て、最終的には利用者、施設の安全を第一義に、利府町役場から北西におよそ1キロの沢乙字寺下の地に移転新築することとなりました。建設に要する経費は、県からの施設整備補助金、福祉医療機構からの借り入れ、それに一部預金を充てて賄いました。7月の地鎮祭を皮切りに、開発行為、土木工事、建築工事と急ピッチで整備が進み、堅牢精緻なる2階建ての訓練支援本棟と10の個室を吹き抜け中心に備えるショートステイ棟が並ぶさまは輪奐(りんかん)の美の佇まいを呈しています。

1. 総会に関すること

実施時期	内 容
5月25日	定期総会 ○令和2年度事業報告・活動計算・貸借対照表・財産目録 ○監査報告

	○令和3年度事業計画(案)・収支予算(案) についてすべて承認されました。
--	--

2. 理事会に関すること

実施時期	内 容
5月25日	第1回理事会 ○令和2年度事業報告・活動計算・貸借対照表・財産目録 ○監査報告 についてすべて承認されました。
3月16日	第2回みなし理事会(新型コロナウイルス感染拡大のため書面決議) ○令和4年度事業計画(案)・収支予算(案) ○多機能サポートランドさわおとの森新築移転(報告) についてすべて承認されました。

3. 届出に関すること

実施時期	内 容
6月3日	宮城県環境生活部共同参画社会推進課NPO・協働社会推進班へ下記を届出 ○事業報告の届出 提出書類：役員報酬規程・職員給与規程・認定NPO法人関係書類 令和2年度事業報告・活動計算書・財産目録・貸借対照表 前事業年度の役員と報酬を受けた役員の名簿 社員のうち10人以上の者の名簿
6月21日	仙台法務局に代表理事の登記を届出

4. 広報に関すること

(1) 広報さわおとの森

発行月	内 容
5月	法人広報誌「広報さわおとの森」No29作成・配付約810部 (法人内全事業所・職員紹介・ボランティア部紹介等)
1月	法人広報誌「広報さわおとの森」No30作成・配付約810部 (法人沿革・専門職の紹介・その他)

(2) ホームページブログ更新

掲載月日	内 容
4月30日	こども発達センターあかいしの森の活動報告
5月26日	塩釜市ひまわり園の活動報告
7月16日	多機能サポートランドさわおとの森“短期入所事業”の活動報告
8月5日	多機能サポートランドさわおとの森新築・移転に向けて進捗報告
9月30日	利府こども発達センター“ぼくらの家・みんなの家”の活動報告
9月24日	多機能サポートランドさわおとの森“生活介護”の活動報告
10月22日	多機能サポートランドさわおとの森新築・移転に向けて進捗報告
10月27日	こども発達センターあかいしの森の活動報告
12月3日	こども発達センターあかいしの森“ぴーす”の活動報告

12月25日	多機能サポートランドさわおとの森“居宅介護・行動援護”の活動報告
1月5日	新年のご挨拶・多機能サポートランドさわおとの森短期入所イベント報告
1月28日	利府子ども発達センター“どんぐり”の活動報告
2月1日	多機能サポートランドさわおとの森“くすみクラブ”活動報告

5. 全体研修に関すること

(1) 法人職員を対象とした人材育成研修や、法人運営にかかわる研修等参加

実施日	名 称	場所・講師等	人数
6月29日	短期入所支援の際の移乗・着脱	さわおとの森佐藤主任	22
7月	個別支援計画作成における着眼点 新型コロナウイルス感染拡大のため中止	齋藤副理事長	
9月30日	摂食指導に関する分野	菅原栄養士、山田言語聴覚士	25
10月19日	「チャレンジド・ファースト」の社会を目指して 技術編	今野和則法人理事	34
11月13日	短期入所に係る職員向け勉強会の実施(虐待防止)	佐藤主任、渡部主任	17
11月16日	法令遵守	高橋副理事長	29
12月16日	作業療法に関わる分野	工藤作業療法士	27
1月21日	思春期・性の課題への支援	鈴木良子氏	24
2月10日	虐待身体拘束について 新型コロナウイルス感染拡大のため中止	佐野センター長	
3月11日	要保護児童受け入れについて 新型コロナウイルス感染拡大のため中止	齋藤副理事長、中央児相 佐治氏	

(2) 新人職員人材育成研修 (令和2年度中途採用者含め2名実施)

実施日	名 称	場所・講師等	人数
3月22日～	令和3年度新規採用者研修	理事長、副理事長、各園管理者	2
5月13日、18日	摂食指導について	鈴木言語聴覚士	2
6月21日、24日	言葉の勉強会	鈴木言語聴覚士	2
7月6日	先輩職員を囲んでの交流会(夕外サロ-ン)	2年目職員、雪田産業看護師、人事部	2
10月14日	先輩職員を囲んでの交流会(夕外サロ-ン)	2年目職員、幸田産業看護師、人事部	2
11月12日	茶話会(メンタルサポート)	雪田産業看護師、人事部	2
2月15日	1年のまとめのディスカッション 新型コロナウイルス感染拡大のため中止	2年目職員、齋藤副理事長、人事部	

(3) 他法人を含めた職員を対象とした強度行動障害支援者養成研修(宮城県指定)の実施

実施日	項 目	受 講 者
8月18日 (オンライン) 8月21日 (集合研修)	基礎研修	当法人：6人 他法人：19人(宮城東部、黒川、仙台、名取、登米、石巻)
8月25日 (オンライン) 8月28日 (集合研修)	実践研修	当法人：6人 他法人：19人(宮城東部、黒川、仙台、名取、登米、石巻)

(4) 児発管研修

実施日	名 称	受講者	人数
7月26日～30日	基礎研修	芳賀、早坂、渡部(龍)、相澤	4
12月16日	実践研修	佐野(ひ)、庄司	2
2月14日～17日	更新研修	本田、佐藤祥、渡部(史)、二科、佐野(篤)、鈴木(と)、門脇、竹内	8

6 . 全体会議に関すること

(1) 管理者会議

定例議題：各事業所の運営報告

実施日	内 容	人数
4月21日	新型コロナ対応の件、さわおとの森新築移転の件、さわおと倶楽部決算の件等	8
5月19日	法人監査の件、理事会総会の件、健康診断の件、ひまわり園指定管理の件、広報の件等	8
6月16日	理事会総会の件、新人研修ならびに人材育成研修の件等	8
7月21日	施設整備等について、職員研修の件、夏期休暇の件等	7
8月23日	さわおとの森移設整備の進捗状況について、職業能力評価について等	8
9月15日	さわおとの森移設整備の進捗状況について、人材育成研修について等	8
10月20日	さわおとの森工事経過について等	8
11月17日	人材育成研修報告等	8
12月13日	理事会の日程について、事業計画書の件、職業能力評価の件等	7
1月20日	理事会の件、事業計画書の件、等	8
2月16日	理事会資料作成の件、辞令交付式の件等	8
3月16日	令和4年度体制について、辞令交付式について、理事会について等	8

(2) 統括主任会議

実施日	内 容	人数
4月6日	立案・記録者の担当決め、令和3年度報酬改定について、変更届について、現状報告	5
5月10日	報酬改定について(医ケア、医療連携体制加算)、障害福祉サービス等情報公表システムについて、現状報告	5
6月3日	報酬改定について、現状報告	5
7月2日	勤務作成担当者報告(さわおとの森伊藤主任)、看護師配置について、現状報告	4
8月3日	居宅・行動援護現状について(さわおとの森佐藤主任)、障害福祉サービス等情報公表システムについて、現状報告	5
9月2日	総務より報告(さわおとの森小野)、利用者実費の確認、現状報告	5
10月1日	法人看護師業務について(本館看護師)、教材費について、事業所アンケートについて、現状報告	5
11月4日	放デイ調整会議の報告、短期入所調整会議の報告、放デイアンケートについて、現状報告	5
12月1日	生活介護のみ現状について(さわおとの森渡部主任)、地域生活支援拠点等協働プロジェクトについて、現状報告	4
1月7日	地域生活支援拠点等協働プロジェクトについて、各園送迎車について、児発管更新研修について、現状報告	5
2月1日	法人一斉メールについて、令和4年度の当直等勤務場所の整理、現状報告	4
3月2日	地域生活支援拠点等協働プロジェクトについて、法人一斉メールについて、令和4年度の当直等勤務場所の整理、現状報告	5

(3) 看護師情報共有会議

実施日	内 容	人数
4月26日	各園勤務体制の確認、利用者情報共有、管理者会議報告	6
6月28日	コロナワクチンについて、熱中症対策について、利用者情報共有、管理者会議報告	6
9月27日	インフルエンザワクチン集団接種について、利用者情報共有、コロナウイルス感染予防について、管理者会議報告	6
11月29日	集団接種インフルエンザワクチン総括、利用者情報共有、管理者会議報告	6
2月21日	年度総括、新型コロナ濃厚接触等の要件確認、利用者情報共有	6

7 . 労働安全衛生に関すること

毎月事業所ごとに職場点検チェックを行うとともに、4事業所を巡回しての定例的に労働安全衛生委員会を行い、職場環境の点検、改善策等を話し合った。

委員：高田産業医・早坂衛生管理者・雪田産業看護師・各園管理者・職場代表

実施日	巡回相談場
4月7日	利府こども発達センター
6月2日	塩釜市ひまわり園
7月21日	こども発達センターあかいしの森
8月3日	利府こども発達センター
9月8日	こども発達センターあかいしの森
10月7日	塩釜市ひまわり園
11月10日	多機能サポートランドさわおとの森
12月1日	利府こども発達センター
1月	こども発達センターあかいしの森
2月6日	塩釜市ひまわり園
3月13日	多機能サポートランドさわおとの森

・多機能サポートランドさわおとの森

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 放課後等デイサービスくるみクラブ(放課後等デイサービス事業)

【実施状況】

様々な活動を提供しながら、利用者個々の能力向上を図り、集団行動や社会体験外出を通して社会適応能力の向上に努めてきました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、一年を通してコロナ対策に追われる一年となり、利用時間前後の消毒作業、換気装置による定時換気、ソーシャルディスタンスの確保(小集団に分けての活動、窓際にテーブルを設置し向かい合わせにならない、飛沫拡散防止のシートの設置等)感染拡大防止に努めました。

利用児に対する手洗い・うがい・マスク着用の啓発活動を行ってきた結果、マスクの着用率が上がってきております。

コロナ禍の中で活動が制限され、公共施設や公共交通機関が使用できない中、子ども達に夏休みを楽しんでもらえるように、デイとショートステイが連携して「くるみキャンプ」を実施いたしました。

日中は活動でデイキャンプに外出して、川遊びやスイカ割りを楽しみ、夕方からショートステイに入り、花火大会やお楽しみ上映会等を行いました。

普段は色んな年代の方がお泊りするショートステイですが、デイの子ども達がお泊りすることや、普段ショートステイを利用されていない方も、行事があることでお泊りする事ができ、利用児やご家族からも好評の企画となりました。

機会があれば来年度も実施していきたいと思っております。

室内活動

制作 季節の催事に合わせた制作を実施
春の壁面制作、夏の壁面制作、秋の壁面制作、冬の壁面制作、母の日制作、ハロウィン制作、クリスマス制作、書初め、節分制作、ひな祭り制作

クッキング 餃子の皮ピザ、フルーツパフェ作り、お好み焼き 他

音楽活動 音楽プログラム、リトミック 他

運動 体力づくりさかのぼり、運動会、集団遊び、雪遊び、ミッションゲーム、なわとび、春探し散策 他

感覚 フィンガーペインティング、スライムづくり 他

その他 避難訓練、ハロウィンパレード、大掃除、クリスマス会、豆まき会、ひな祭り会、他

屋外活動

外出先 奥松島縄文村歴史資料館、公園散策、初詣、他

社会体験 初詣、買い物体験、他

行事

4月(お花見)5月(母の日)7月(七夕会)8月(くるみキャンプ)9月(お月見)
10月(ハロウィンパレード)11月(焼き芋会)12月(クリスマス会)1月(初詣、伝承遊び)2月(豆まき会)3月(春休み遠足)

くるみだより、写真集の作成・配付

くるみだよりでは翌月の活動予定等を掲載し、写真集では利用者一人ひとりの活動の様子を掲載し、利用者並びにに家族に配付

【開所日数】 2 3 3 日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
令和3 年度	実人数	30	30	30	30	30	30		
	延人数	186	169	198	198	147	150		
令和2 年度	実人数	36	36	35	36	36	35		
	延人数	174	167	225	220	184	216		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
令和3 年度	実人数	30	30	31	31	31	31		30
	延人数	150	169	184	163	129	138		1981
令和2 年度	実人数	36	35	36	35	35	36		36
	延人数	221	190	203	172	133	210	2,315	

【スタッフ数】 管理者 1 人・児童発達支援管理責任者 1 人・児童指導員 2 人・指導員 1 人
保育士 2 人・看護師 1 人

2. 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(1) 生活介護のみ(生活介護)

【実施状況】

生活介護の日常は、毎日の生活日課と余暇時間を調整しながら個別支援計画に基づいた自立課題や体力づくり、機能維持向上、技術の習得などを目的とした活動や取り組みを中心にしています。今年度もリハビリを意識し、午後の活動前にリハビリ体操を実施しています。スタッフも援助しながら、意識的に体を動かすことで継続的な体の機能維持を試みています。

その他、コロナウイルス感染拡大に伴い行事等の縮小はやむを得ずではありましたが感染予防を徹底し、十分な換気と消毒対策、食事は分散をしてフェイスマスク等の活用も始めました。

上記の活動と関連付け、健康・医療面としては、年1回の集団健康診断の実施や嘱託医である高田医師との相談の機会を2回実施しました。(利用者向け、職員向けにの相談)法人内に在籍する看護師とも連携を取って、利用者一人ひとりの状態を把握することが出来るように整備、また、昨年度に引き続き専門職(作業療法士・言語聴覚士)の指導日も設定し、栄養士・調理師とも連携して摂食時の個別リハビリを継続しています。

【主な行事】

4月	お花見外出、健康診断実施	10月	秋季ミニ体育祭
5月	野外調理体験	11月	焼き芋体験
6月	わのみ喫茶	12月	お楽しみ忘年会、お泊り行事
7月	うどん作り体験会、七夕制作	1月	初詣週間、書初制作、わのみ喫茶
8月	医療相談(利用者向け)スイカ割り	2月	豆まき会、医療相談(職員向け)

9月 芋煮会		3月 お別れ会						
【開所日数】234日								
【利用人数】								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和3年度	実人数	18	18	18	18	18	18	
	延人数	358	307	376	367	326	373	
令和2年度	実人数	18	18	18	18	18	18	
	延人数	329	300	365	383	322	374	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和3年度	実人数	18	18	18	18	18	18	18
	延人数	353	368	352	335	309	373	4197
令和2年度	実人数	18	18	18	18	18	18	18
	延人数	369	350	346	317	285	379	4119
【スタッフ数】管理者1人・サビ管1人・生活支援員9人・看護師1人・嘱託医1人								

(2) 生活介護のみショートステイ(短期入所事業)

<p>【実施状況】</p> <p>自宅以外での宿泊経験、特に学童期に集団で夕方から翌日朝まで過ごす体験をしたり、生活に必要な動作をできるだけ自分の力で行う生活訓練の要素を取り入れながら1泊2日程度の短期の利用を中心にご利用いただいています。</p> <p>令和3年度においては、引き続き新型コロナウイルスの影響が色濃く残る時世ではあったものの徹底した感染症拡大防止策や衛生管理のもとにできる限り通常どおりのご利用をしていただけるように事業を進めてきました。地域等の感染状況から止む無く事業閉鎖した期間もありましたが、ご家族のかたにも事業所としての対応についてご理解いただき、その後も皆様に引き続き利用いただいています。</p> <p>年度末は令和4年4月の事業所移転に向けて旧建屋での思い出づくりに訪れるかたもあり、新天地への期待と共に従来のおさおとの森に名残を惜しむ声も多く聞かれました。移転の話も追い風となり、新規での見学希望者も徐々に増えてきている状況です。</p>								
<p>【主な行事】</p> <p>7月：夕涼み会 8月：くるみキャンプ(放デイコラボレーション企画)</p> <p>10月：梨狩り外出(コロナ禍のため中止)</p> <p>11月：芋煮会(調理部分以外を縮小して実施)</p> <p>12月：光のページェント(コロナのため中止し「変わり湯(柚子)」に変更)</p> <p> わのみ YOASOBI お泊まり会(生活介護コラボレーション企画)</p> <p>2月：いちご狩り(コロナ禍のため中止)</p> <p> 感染予防のため一部行事を中止、変更しました。</p>								
<p>【実施日数】日実施</p> <p>【利用人数】332</p>								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	

令和3年度	実人数	120	122	116	122	122	122	
	延人数	210	281	295	307	269	296	
令和2年度	実人数	151	153	167	170	165	164	
	延人数	256	259	324	335	293	321	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和3年度	実人数	113	125	124	113	89	95	
	延人数	297	306	311	283	223	238	
令和2年度	実人数	167	163	158	160	155	152	186
	延人数	317	312	286	276	210	210	
【スタッフ数】生活支援員14人(他事業所兼務)								

(3) 居宅介護・行動援護

【実施状況】								
<p>昨年度はコロナ禍への不安から大きく利用者数が減少した居宅介護でしたが、令和3年には終息の見えないコロナ不安の中でも生きるために必要な通院の部分は何としてでもやらなければならない、というご家族様の意見が出てきており、医療機関の対応も定まってきたことから利用再開する利用者が増えてきています。</p> <p>行動援護は、昨年度に引き続き衛生対策を講じたうえで支援者と1対1のサービスということで需要が高く、「心身の健康維持のための散策」を主軸に据えて支援を継続しています。中でも、短期入所のサービスや日中活動の事業所の組み合わせでは対応しきれない緊急的なサービス利用をつなぐ形で活用し、新規利用の見込みも含めて利用希望は増加傾向にあります。また、法人で強度行動障害支援者養成研修を実施していることで業務対応できる資格を取得するスタッフも増えており、今後一層の活躍が期待されています。</p>								
【実施日数】285日開所								
【利用人数】								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和3年度	実人数	12	11	12	14	11	12	
	延人数	22	25	26	26	23	23	
令和2年度	実人数	8	9	14	16	17	18	
	延人数	10	19	30	47	41	55	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
令和3年度	実人数	16	13	11	12	10	10	
	延人数	22	23	25	25	22	20	
令和2年度	実人数	16	14	15	12	11	11	21
	延人数	32	29	30	25	23	23	
【スタッフ数】他事業と兼務								

(4) 市町村事業

日中一時支援事業・移動支援事業

【実施状況】 日中一時事業 実施なし 移動支援事業 年間19件
--

3. 付随事業

(1) 職員の研修等に関すること 新型コロナウイルス感染予防とし、オンライン中心で受講しました。

実施日	名 称	場 所	人数
5月25日	OJT 指導者養成研修	県社協(オンライン)	2
6月6日	新任者研修「障害編」	日本栄養士会(オンライン)	1
6月11日	介護福祉養成施設実習指導研修	一般社団法人宮城県介護福祉会	1
6月12日	医療ケアコーディネーターフォローアップ研修	精神保健推進室(宮城県庁)	1
6月23日	知的障害支援者専門研修	(オンライン)	1
6月29日	クレーム対応研修	県社協(オンライン)	1
7月13日	障害者虐待防止研修	県社協(オンライン)	1
8月26日	アンガーマネジメント研修	県社協(オンライン)	2
9月28日	レジリエンス研修	県社協(オンライン)	1
11月30日	感染症予防 web 研修	県社協(オンライン)	1

(2) 職員会議に関すること

全体職員会議

実施日	内 容
9月14日	各部署からの現状報告、課題把握、係分担の進捗確認

コロナ禍のため、その他全体職員会議は中止とした。

放課後等デイサービスくるみクラブ支援会議

実施日	内 容
毎月	個別支援計画、活動について、行事について、その他

生活介護わのみ支援会議

実施日	内 容
毎月	個別支援計画について、専門職指導内容の共有 他

短期入所支援会議

実施日	内 容
3か月に1回	利用者情報共有、行事等の確認、その他

居宅会議

実施日	内 容
3か月に1回	利用者情報共有、行事等の確認、その他

給食会議

実施日	内 容
3か月に1回	献立、反省、食形態、新型コロナウイルス感染予防、台所環境、検便について

(3) 生活介護わのみ保護者向け勉強会の実施(オンライン)

実施日	勉強会内容	講師他
5月31日	地域生活を支える施策	副理事長 高橋繁夫
7月9日	施設入所とは?	栗原秀峰会 二階堂明彦・菅原卓哉 杏友園 吉田千恵 永楽会 大場康生
7月16日	グループホームとは?	地域生活援助センター 八島哲

		恵泉会 中津川了喜 嶋福社会さくらの家 本杉弘美
8月21日	意思決定支援とは？	全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長 又村あおい
11月17日	障害がある子の「親なきあと」	「親なきあと」相談室主宰 渡部伸
12月21日	損害保険、生命保険について知る	株式会社JIC 針金洋史
1月25日	信託とは？	日本信託協会

(4) 防災に関すること

実施日	内容・参加者
毎月	避難訓練実施
9月15日	通報訓練
6月10日	総合防災訓練実施（消化訓練・通報訓練）
10月6日	土砂災害想定での避難誘導訓練実施
2月30日	総合防災訓練（消化訓練・通報訓練）

(5) 広報に関すること

くるみ便り・わのみ便りを月1回、さわおとNEWSを年3回、それぞれ発行・配付し、活動状況の報告と次月の予定・計画等を家族へ伝達する。
--

・塩竈市ひまわり園

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 児童発達支援事業ひまわりキッズ(児童発達支援事業)

【実施状況】

発達に障がいや何らかの発達の遅れがある未就学児の親子通園を実施。個別支援計画に基づき、個別もしくは小集団での各種療育支援を行うことにより、ご家族への療育アドバイスやより良い成長を促しての子育てを提供することが出来ました。

令和年3度は未就学児2歳から6歳まで親子で通園し、新たに3人の新規ご利用があり17人の契約児数でした。

保護者様のご希望や発達に合わせ、完全母子分離での療育を行い育児負担の軽減を図ってきましたが、子どもの様子を見たいという保護者様へは成長の確認をして頂くために、月1,2回の母子通園をして頂きました。また、1組の親子の送迎を実施いたしました。令和4年3月に4人の未就学児を小学校へ、その他1人を幼稚園に送り出しました。

【主な行事】

- 4月：はじまりの会・お花見
- 5月：園外活動(加瀬沼公園)・誕生会
- 6月：親子で遊ぼう会・誕生会
- 7月：星まつり(藤倉保育所と合同)・誕生会
- 8月：水遊び・運動遊び
- 9月：園外活動(みなと公園)・誕生会
- 10月：いもほり遠足・誕生会
- 11月：誕生会・保護者勉強会(栄養士・言語聴覚士によるお話)
- 12月：クリスマス会・誕生会
- 1月：初詣・誕生会・保護者勉強会
- 2月：豆まき会・誕生会
- 3月：お雛祭り会・卒園式

*新型コロナウイルス感染拡大のため、親子で遊ぼう会2回目は保育所との交流会は行いませんでした。

【実施日数】237日(月曜日～金曜日9:00～13:00)

【利用人数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3年度	実人数	15	16	17	17	17	17		
	延人数	169	145	204	176	162	181		
2年度	実人数	12	12	14	15	15	15		
	延人数	96	101	157	150	149	140		
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
3年度	実人数	17	16	17	16	16	16	17	
	延人数	190	175	1767	152	130	182	2,042	
2年度	実人数	17	17	16	16	15	17	17	
	延人数	188	153	151	166	163	198	1,812	

【スタッフ数】管理者、児童発達支援管理責任者兼務1人・保育士2人・児童指導員4人

ひまわりクラブと兼務

【その他】臨床発達心理士・作業療法士・言語聴覚士・動作法の専門職の協力45回実施

(2) 放課後等デイサービスひまわりクラブ(放課後等デイサービス)

【実施状況】

学童障がい児を対象に個別支援計画を作成し、放課後や長期休み等に、小集団活動や個別での各種療育活動・社会体験などを行うことにより、より良い成長・社会性の向上を図ることを目指してきました。併せて、ご家族への支援も心がけてきました。

令和3年度は1名の新規契約者がおりました。長期休みに午前中から利用できる事業所を優先して、ひまわり園を辞めた方が2名いました。

小学校1年から高校3年まで26名の学童児は、学校も9校と賑やかな毎日を送ってきました。各学校の終業時間の違いをはじめ、利用児同士の関係調整への特別な配慮の必要性など、今後も継続して取り組んでいきます。

令和4年3月に高等部3年生2名が卒業しました。

【主な活動】 4月：クッキング 5月：社会体験・避難訓練 6月：買物体験・制作活動
7月：社会体験・制作活動 8月：クッキング・シアター鑑賞
9月：公園活動・社会体験 10月：買物体験・社会体験・シアター鑑賞
11月：制作活動・買物体験 12月：制作活動(スノードーム)
・お楽しみ会・社会体験 1月：初詣体験・書初め・制作活動
2月：節分・避難訓練・クッキング 3月：買物体験・お楽しみ会

【実施日数】平日238日実施 13:00~17:00

土曜日 利用者無し

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3 年度	実人数	24	21	24	26	26	22	
	延人数	84	77	96	87	70	74	
2 年度	実人数	25	25	30	35	30	28	
	延人数	92	90	119	111	101	100	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
3 年度	実人数	21	22	24	24	19	21	21
	延人数	81	85	84	73	59	63	933
2 年度	実人数	29	29	30	29	30	26	35
	延人数	114	109	114	102	92	102	1,252

【スタッフ数】管理者、児発管兼務1人・保育士2人・児童指導員4人(キッズと兼務)

2. 健全児童に対しての各種福祉サービス事業

(1) 兄弟児支援事業

【実施状況】

昨年に引き続きコロナ禍もあり、密を避けるため兄弟児支援は行わずに利用児の母子分離を行いました。

3. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 塩竈市障害児・者発達相談支援事業「ひまわり相談室」

【実施状況】								
平成21年度より塩竈市からの委託事業として、専門職(臨床発達心理士・作業療法士)による塩竈市の在宅障害児・者の各種相談を無料で実施								
【実施・訪問場所】								
ひまわり園、利府支援学校・塩釜校、塩竈市立第一小学校、第二小学校、塩竈中央幼稚園、ひまわり幼稚園、塩釜聖光幼稚園、多賀城東幼稚園、地域拠点センター、あゆみ保育園、藤倉保育所、玉川保育園								
【実施日数】 24日実施(2日/月)								
【利用実数】								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3年度	相談実数	5	3	5	4	3	3	
2年度	相談実数	3	4	7	3	5	4	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
3年度	相談実数	4	3	6	3	4	4	47
2年度	相談実数	3	2	0	1	4	4	40
【スタッフ】 臨床発達心理士・作業療法士の専門職2人								

4. 付随事業

(1) 塩竈市ひまわり園運営委員会に関すること

【実施予定日・場所】	
日 時	令和4年2月25日(金) 13:30~15:00
場 所	塩竈市公民館 視聴覚室
保護者2人・教育委員会学校教育課1人・民生児童委員1人・保健師1人・障がい者支援係1人・藤倉保育所々長1人・当法人理事長・副理事長・ひまわり園々長、職員1人	
【内 容】	
コロナ感染症拡大のため、中止し書面での資料説明とした。	

(2) 研修に関すること(法人全体人材育成研修以外)

実施日	名 称	場 所	人数
3年6月17/18日	新任職員研修	リモート	1
3年6月~10月の5日間	相談支援初任者研修	県庁他	1
3年7月6日	新人研修	拠点センター	2
3年10月14日	新人研修	さわおとの森	2
3年12月20/21日	サビ児管実践研修	リモート	1
4年1月11日	相手目線で考えるコミュニケーション研修	ハーネル仙台	1
4年1月29日・2月19日	訪問歯科相談室研修会	リモート	1

(3) 職員会議に関すること

実施日	内 容	人数
4月28日	職員の役割分担等について・5月の行事について・支援、活動について	6
5月17日	5月の行事について・活動、支援について	6

6月9日	6, 7月の行事について・活動、支援について	7
7月5日	「星まつり」について・夏休みの受け入れについて	7
8月23日	9月の行事について・活動、支援について他	7
10月7日	10月の行事について・活動、支援について他	8
11月25日	12月の行事について・活動、支援について	6
12月17日	クリスマス会の反省・1月の行事、活動、支援について・年末の見回り他	7
1月18日	1, 2月の行事について・活動、支援について・ワクチン接種他について	7
2月15日	3月の行事について・個別面談の進捗状況について他	7
3月10日	「卒園式」について・新年度、春休みの受け入れについて他	6

(4) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること
 コロナ禍のため、動作法・三好先生のゼミ生のみでの受け入れでした。

(5) 防災に関すること

<p>【実施状況】 毎月1回、藤倉保育所の計画の元に、合同で避難訓練を実施。 11月に総合避難訓練として、消防署の職員が来て、保育所・ひまわり園の職員による消火器使用の訓練を行う。 12月には、保育所2階からの避難を体験する。 防犯訓練として、塩釜警察署員の指導のもと不審者対応訓練に参加する。</p>
--

(6) 広報に関すること

<p>【実施状況】 児童発達支援事業 「ひまわり園だより」・「ほけんだより」を毎月発行。 放課後等デイサービス 「ひまわり園だより」を毎月発行。</p>

こども発達センターあかいしの森

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 児童発達支援「むーとん」(児童発達支援センター)

【実施状況】

令和3年度は36名でスタートし、最終的には52名の在籍になっています。令和4年1月22日にコロナ陽性者が発生し、その後、利用児・家族・職員と感染が拡大し7日間の臨時休園をしました。最終的には利用児6名、保護者4名、職員3名の計13名が陽性となり、保健所よりクラスターと認定されました。毎日感染対策には十分に力を入れてやってきましたが、感染力が強く対応に苦労しました。そのほか、学校・幼稚園・保育所・家族の陽性者発生等もあり、利用実績がまったく伸びない一年でしたが、ペアレントプログラムの2グループ(10人)の実施や、個別支援「みち」等の療育にも力を入れ、その効果は大きく表れた一年でもありました。

【実施行事】

4月：はじまりの会・お花見会 5月：春の遠足・個別面談・摂食勉強会・奉仕活動
 6月：言葉の勉強会・奉仕活動・先輩母を囲んで・プール開き 7月：奉仕活動・川遊び・内科健診 9月：秋の遠足・奉仕活動 10月：ミニ運動会・個別面談
 11月：七五三参り・OT勉強会
 12月：クリスマス会・内科健診 2月：節分・大先輩を囲んで 3月：卒園式・お別れお楽しみ会・まとめの面談
 毎月：誕生会 3ヶ月に1回：ママミーティング
 9月10月11月：ペアレントプログラム

【実施日数】 230日(コロナ休園 1/6~7, 1/24~2/1)

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3年度	実人数	36	39	40	44	43	44		
	延人数	295	291	364	313	289	329		
2年度	実人数	36	35	37	38	40	43		
	延人数	269	257	307	315	292	362		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3年度	実人数	43	47	49	45	43	55		59
	延人数	314	340	365	180	247	395		3,722
2年度	実人数	43	43	45	46	48	50		50
	延人数	323	329	384	359	374	461	4,032	

【スタッフ数】 管理者1人・児発管1人・保育士5人・児童指導員3人・言語聴覚士1人
 看護師1人

【その他】 臨床発達心理士0回、作業療法士7回、言語聴覚士47回の支援

(2) 放課後等デイサービス「ぴーす」(放課後等デイサービス)

【実施状況】

ぴーすの在籍は57名になっており、令和3年度も新規の受け入れはできない状態であったが、令和4年度に向けて新規受け入れができるようになった為、見学会やアンケート等の動きをしています。コロナに関しては、児発から陽性者が発生した事によって、臨時休園を行いました。陽性者と接触のない職員が支援に入る事で、早めに開園できるよう努力してまいりました。保護者への情報伝達や、休園の協力願い等では、とても神経を使った1年でした。

【実施行事】4月：カレンダー作成・音楽遊び・サーキット・こいのぼり製作

5月：運動サーキット・母の日製作・園庭遊び・クッキング

6月：避難訓練週間・お買い物体験・魔法使いサーキット・感覚遊び

7月：七夕パーティー・縁日ごっこ・クッキング・外出活動・

あのねとの交流会

8月：カラオケごっこ・水遊び・避難訓練週間・夏祭りサーキット

9月：水遊び・クッキング・外出活動・音楽遊び

10月：お買い物体験・秋を探そう・あいの郷との交流会・ハロウィン製作

11月：作って遊ぼう・室内ゲーム・焼き芋ごっこ・外遊び

12月：クリスマス製作・クリスマス会・あかいし写真館劇遊び・室内カラオケ

1月：初詣・羽子板製作

2月：室内ゲーム・買い物体験・ゲーム遊び

3月：おひなさま写真館・トータルビジョントレーニング・まとめの会

【実施日数】235日(コロナ休園 1/24~28)

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	54	53	53	57	49	49		
	延人数	172	183	212	194	145	164		
2 年度	実人数	42	49	56	59	61	56		
	延人数	120	133	209	211	187	208		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	54	49	54	48	42	51		59
	延人数	179	172	181	110	136	157		2,005
2 年度	実人数	57	57	58	57	56	60		61
	延人数	180	186	212	176	181	207	2,210	

【スタッフ数】管理者1人・児童発達支援管理責任者1人・保育士2人・児童指導員2人
作業療法士1人

【その他】保護者からの要望に応じ、専門職の支援を実施しておりますが、今年度は希望がありませんでした。

(3) 保育所等訪問支援「ほーぷ」(保育所等訪問支援)

【実施状況】									
主に支援学校への訪問を定期的に行っています。その他としては、特にあかいしの森むーとんに在籍している3人の並行利用先に出向き、アドバイスをを行った後、職員の対応が大きく変わったとの報告を受けたケースもありました。									
【実施日数】 34日									
【利用人数】									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3年度	実人数	1	1	11	3	3	4		
	延人数	1	2	13	3	3	4		
2年度	実人数	4	2	3	2	3	6		
	延人数	6	4	5	3	5	7		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3年度	実人数	6	2	6	6	1	1		24
	延人数	10	2	6	7	1	1		53
2年度	実人数	6	5	4	3	2	0	6	
	延人数	6	6	4	3	2	0	51	
【スタッフ数】 臨床発達心理士1人・作業療法士1人・言語聴覚士1人・保育士3人									

(4) 居宅訪問型児童発達支援「にじ」(指定障害児通所支援事業)

【実施状況】									
令和2年10月にご利用者の死亡を受け、令和3年度は在籍者はなくなりましたが必要な方がいた場合はすぐに受けられるよう事業は継続してきました。令和4年度は休業とし、必要な時に再開する事と致します。									
【実施日数】 0日									
【利用人数】									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3年度	実人数	0	0	0	0	0	0		
	延人数	0	0	0	0	0	0		
2年度	実人数	1	1	1	1	1	1		
	延人数	0	0	0	0	0	0		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3年度	実人数	0	0	0	0	0	0		0
	延人数	0	0	0	0	0	0		0
2年度	実人数	0	0	0	0	0	0	1	
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	
【スタッフ数】 作業療法士1人 言語聴覚士1人 看護師1人 保育士1人									

2. 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業、並びに障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(1) こども相談支援つくしんぼ黒川（障害児相談支援事業・特定相談支援事業）

【実施状況】									
<p>作成対象者は当法人を利用している障害児・者とし、120人の計画を作成しました。進捗率は、他相談事業所との連携もあり、ほぼ100%となっております。しかし、市町村より児童発達支援等の新規利用希望は続いており、全ての方への計画作成をつくしんぼ黒川で受ける事は困難となっております。そのため、富谷市・黒川相談支援ネットワークや宮城東部相談支援部会を通し、他相談事業所と連携、調整を行っております。</p> <p>また、18歳となり障害児相談支援事業（障害児）から特定相談支援事業（障害者）へと変更になる方に対し、特定相談支援事業を主としている相談支援事業所へケースの引継ぎを行い、その分、新たな児童の計画相談を行っております。</p>									
【実施日数】 240日実施									
【利用人数】 利用計画とモニタリングも含む									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3年度	実人数	34	32	18	39	39	31		
	延人数	34	32	18	39	39	31		
2年度	実人数	30	37	13	9	21	31		
	延人数	30	37	13	9	21	31		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3年度	実人数	24	28	26	20	24	14		329
	延人数	24	28	26	20	24	14		329
2年度	実人数	11	13	25	31	25	38	284	
	延人数	11	13	25	31	25	38	284	
【スタッフ数】 つくしんぼ黒川 相談支援専門員 4人									

3. 健全児に対する各種福祉サービス事業

(1) 兄弟児支援事業

【支援内容】									
<p>今年度は、長期休み中は富谷市社会福祉協議会のボランティアサークルの方々にお手伝いいただくことができ、とても助かりました。その後平日でもお手伝いを頂ける方とつながりをもつことができたことは、大きな収穫でした。</p>									
【実施日数】 225日									
【利用人数】									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3年度	実人数	9	5	5	11	11	6		
	延人数	46	35	39	55	65	36		
2年度	実人数	5	5	4	5	6	5		
	延人数	29	34	28	28	34	28		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間

3	実人数	7	6	12	7	7	11	17
年度	延人数	35	43	57	23	29	59	522
2	実人数	5	7	8	9	8	11	7
年度	延人数	24	30	39	41	38	62	415

【スタッフ数】赤ちゃんボランティア（登録6人）及び職員

4. 付随事業

(1) 職員研修に関すること（法人全体人材育成研修以外）

強度行動障害支援者養成研修、児発管研修、障がい者相談支援従事者現認者研修、
医療的ケア児等コーディネーター養成研修に参加
その他、ズームにて年間30回の研修に参加

(2) 会議に関すること

全体職員会議

内容：管理者会議報告、各部署報告等

参加者：全職員 回数：月1回 年12回実施

むーとん会議

内容：情報共有、活動報告他 参加者：センター長、統括主任、むーとん職員等

回数：月1回 年12回実施

pees会議

内容：活動の振り返り、利用者情報共有他

参加者：センター長、統括主任、pees職員等

回数：月1回 年12回実施

個別支援会議

【実施状況】

むーとん...クラス毎に毎月行い、クラス運営や支援内容についての話し合いを行ってきた。
pees...活動の振り返りの中で、個々の対応を含め毎朝、及び月1回行ってきました。

給食委員会

内容：実施反省、次月の献立、利用者食形態の確認他

参加者：菅原栄養士、委託業者（調理員）、統括主任、給食担当者等

回数：月1回 年12回実施

その他会議（つくしんぼ黒川のみ）

実施日	内容	場所	人数
毎月	富谷・黒川地域自立協 相談支援NW会	ひだまりの丘、ZOOM	4
毎月	宮城東部地域自立協 相談部会	ZOOM	1
毎月	つくしんぼ黒川会議	つくしんぼ黒川	5

(3) 見学と研修、実習の受け入れ等に関すること

実施日	内容	人数
10月12日、13日	宮城大学看護実習	2
10月15日	東北福祉大学生	2

11月1日2日	宮城大学看護実習	3
12月8日	放デイ事業所 みんな to さんぽ見学	2
2月24日25日	放デイ事業所 みんな to さんぽ実習	2
	東北文化学園大学	

(4) 講師に関すること

内容：合同業務研修 大和町ふれあい教室 (高橋麻理)

(5) 地域交流に関すること(あかいしまつり)

令和3年度は、コロナ感染防止対策の為、実施しませんでした。

(6) 防災に関すること

【実施状況】

むーとん避難訓練	5月24日	火災想定
	7月6日	地震想定
	9月29日	火災想定
	11月11日	地震想定
	1月21日	地震想定
ぴーす 避難訓練	5月31日～6月4日	火災想定
総合防災訓練実施日(避難・通報・消火訓練)	10月11日	(むーとん利用児対象)
防災点検実施日	年4回実施	(北杜防災)

(7) 広報に関すること

園だよりの発行

- ・クラスだよりの発行(未就学各クラス用)を発行：12回/年
- ・ぴーすだよりの発行(学童用)を発行：12回/年 月の活動予定及びお知らせ・お願い事項等

・利府こども発達センター

1. 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(1) 利府こども発達センターどんぐり(児童発達支援事業)

【実施状況】

未就学の発達に遅れのあるお子さんとそのご家族を対象に、小集団生活の中で社会性を養い、子ども達の持っている力を引き出すための個別支援計画を作成し、それに基づき一人ひとりに合った療育を行ってきました。

また、お子さんのレスパイトでの受け入れを積極的に行って家族の負担軽減に努めてきました。運動・音楽・感触・集団・製作活動などの日々の活動、様々な行事を経験していく中で成長し、どの子ども達の自信に満ちた表情を見ることが出来ました。保護者との個別面談や日々の会話の中で子育ての困り感をタイムリーにキャッチし、解決方法を一緒に考えていくなど、家族支援にも取り組んできました。

令和3年度は、7人が卒園し、13人が次年度も継続利用となります。

・主な行事

5月	春の遠足(七北田公園)	12月	歯科健診
6月	お父さん参加	12月	クリスマス会
7月	先輩ママとの茶話会	2月	お父さん参加
10月	運動会	3月	お別れ遠足(八木山動物園)
11月	りんご狩り	3月	お別れ会
6月、9月、1月	避難訓練		

【実施日数】239日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
令和3年度	実人数	17	16	17	18	17	17		
	延人数	158	150	180	187	165	190		
令和2年度	実人数	18	20	22	22	24	22		
	延人数	169	158	190	192	186	172		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
令和3年度	実人数	19	19	20	20	20	20		20
	延人数	237	187	200	207	170	224	2,255	
令和2年度	実人数	21	21	24	24	24	24	24	
	延人数	205	199	194	183	181	231	1,665	

【スタッフ数】管理者1人・児童発達支援管理責任者1人・保育士4人

【その他】専門職の指導 作業療法士・心理職・言語聴覚士・理学療法士 随時

(2) 利府こども発達センターあのね(放課後等デイサービス)

【実施状況】

学童児に対して、主に放課後や長期休業日に各種療育支援・自立支援を目的に活動を実施してきました。

活動ではクッキング・制作・個別課題・サーキットなどの室内で行うものや、買い物体験・公園遊びなどの外出体験を通して様々な場所に慣れる・経験する・運動するなどの目

的を踏まえながら、活動の場所も開拓してきました。

室内活動は個別課題やサーキットなど工夫を凝らして充実したものになり、楽しんで取り組めるようにしました。新型コロナウイルスの影響で活動に制限はありましたが、予防対策をしながら例年と変わらない活動を心掛けました。

・主な行事

- 4月 遠足(仙台うみの杜水族館、みちのく杜の湖畔公園)、お花見、公園遊び
- 5月 公園遊び、畑作業・避難訓練、買物体験、DIY
- 6月 ウォークラリー、カレンダー作り、個別課題、買物体験、プラネタリウム作り
- 7月 オリピックサーキット、クッキング、戸外遊び、あかいしの森と交流会
- 8月 遠足(角田市スペースタワー・コスモハウス、パレットおおさき、ベニーランド、長沼フートピア) 縁日、川遊び
- 9月 わんこそうめん、収穫サーキット、ウォークラリー、クッキング
- 10月 梨狩り、収穫作業・避難訓練、外出(仙台市科学館、県民の森) ハロウィン活動、
- 11月 買物体験、DIY、個別課題、外出(東北歴史博物館、塩釜神社)
- 12月 クリスマス制作、ミニ運動会、クリスマス会、クッキング・冬の花火、遠足(八木山動物公園・仙台うみの杜水族館)
- 1月 初詣(定義山、塩釜神社、竹駒神社) お正月遊び、餅つき、凧揚げ
- 2月 桃太郎サーキット、公園遊び、マクドナルドごっこ、忍者ゲーム、
- 3月 DIY、公園遊び、スライドショー・進級式、音楽遊び、遠足(とんとんの丘、八木山ベニーランド、細倉マイパーク)

【実施日数】240日実施 (月曜日～金曜日 13時～17時)

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	45	42	42	45	46	42		
	延人数	194	168	203	189	165	169		
2 年度	実人数	40	42	43	44	45	43		
	延人数	168	179	220	206	166	191		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	42	43	44	45	35	45		46
	延人数	195	185	193	163	133	178		2、135
2 年度	実人数	43	43	45	44	43	44		45
	延人数	200	186	204	177	174	223	2,294	

【スタッフ数】管理者1人・児発管1人・保育士2人・児童指導員2人・看護師1人

(3) 利府こども発達センターのびっこ(保育所等訪問支援事業)

【実施状況】

作業療法士と言語聴覚士による訪問支援員が、保育所・幼稚園・学校等へ伺い、そのスタッフ等へ相談アドバイスを行い、障害児のインクルージョン教育に寄与してきました。

【開所日数】236日開所

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	1	5	16	6	3	5		
	延人数	1	5	16	6	3	5		
2 年度	実人数	1	6	6	7	4	6		
	延人数	1	6	6	8	4	6		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	7	4	8	5	3	4		67
	延人数	7	4	10	5	3	5		70
2 年度	実人数	9	3	0	1	8	12		12
	延人数	9	3	0	1	8	13	65	

【スタッフ】管理者1人・児発管1人・作業療法士2人・言語聴覚士1人・保育士1人

2. 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

(1) ぼくらの家（共同生活援助）

【実施状況】									
平成29年4月から当法人として初めて実施する共同生活援助です。利用者に対して生活支援員や世話人が夜と週末・祝日を中心に自宅に代わって生活支援を実施しております。平日日中は全員日中活動場所へ通っております。									
【実施日数】 365日実施									
【利用人数】									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	6	6	6	6	6	6		
	延人数	180	180	180	186	180	178		
2 年度	実人数	6	6	6	6	6	6		
	延人数	180	182	180	183	181	178		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	6	6	6	6	6	6		6
	延人数	186	180	185	178	168	186		2167
2 年度	実人数	6	6	6	6	6	6		6
	延人数	186	178	184	168	168	184	2152	
【スタッフ数】 管理者1人・サービス管理責任者1人・生活支援員2人 調理員（世話人）3人と当直職員7人（他事業と兼務）での交代勤務									

(2) みんなの家（短期入所事業）

【実施状況】								
平成29年4月に、当法人として2番目の短期入所事業所を開所しました。上記の共同生活援助（ぼくらの家）の隣の居室等で受け入れを行っています。平成30年12月に増築工事が終了し、定員5人に増員され居住スペースも拡大、利用も大幅増になりました。								
【実施日数】 347日実施								
【利用人数】								

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	70	75	80	83	75	71		
	延人数	169	177	206	207	181	188		
2 年度	実人数	45	55	65	84	80	90		
	延人数	126	150	179	228	201	231		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	77	85	83	60	65	54		878
	延人数	205	202	198	145	144	139		2161
2 年度	実人数	93	87	85	64	65	75		101
	延人数	229	188	200	162	157	212	2263	

【スタッフ数】管理者1人・当直職員7人（他事業と兼務）での交代勤務

3. 健常児童に対する各種福祉サービス事業

(1) 健常児一時保育

【実施状況】									
どんぐり利用児の兄弟を、同じ時間帯に受け入れました。									
【利用人数】									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	4	3	4	3	4	3		
	延人数	21	17	21	23	23	9		
2 年度	実人数	3	3	3	3	4	3		
	延人数	16	15	24	33	24	25		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	3	3	3	3	3	3		5
	延人数	17	15	19	15	13	20		213
2 年度	実人数	4	3	3	4	4	4		6
	延人数	22	18	18	18	22	30	265	

【スタッフ数】専属ボランティア等3人

4. その他目的を達成するために必要な事業

(1) 自治体委託事業

利府町乳幼児発達相談事業

【実施状況】	
平成19年度より利府町からの受託事業として実施。乳幼児健診で発達の心配な児童とその家族に対してST・OT・心理による専門的な相談（森の相談室）と、親子教室としての育児支援（コアラ教室）を行ってきました。	
【実施場所】 利府町保健福祉センター	
【実施日数】 森の相談室：年間37日実施（3～4日/月） コアラ教室：年間18回実施（1～2日/月）	
【利用人数】	
森の相談室（心理発達相談・言語発達相談・OT発達相談）	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	10	11	15	8	8	12		
	延人数	10	11	17	8	8	13		
2 年度	実人数	4	9	14	11	23	11		
	延人数	4	10	15	11	23	14		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	17	9	10	10	9	10		103
	延人数	18	11	10	10	9	10		135
2 年度	実人数	16	14	14	7	10	18		118
	延人数	17	15	14	7	10	18	158	

コアラ教室(親子教室)(対象児のみで保護者・兄弟は含まない)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数		4	3	3	3	4		
	延人数		4	3	3	3	4		
2 年度	実人数		中止	1	2	5	11		
	延人数		中止	1	2	5	16		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	4	2	5	4	6	6		13
	延人数	8	3	8	4	15	8		63
2 年度	実人数	6	7	8	8	11	12		18
	延人数	6	9	12	8	17	19	95	

【スタッフ数】森の相談室：心理職・言語聴覚士・作業療法士の専門職5人

コアラ教室：保育士等3人

利府町乳幼児精神発達精密健康診査

【実施状況】

令和3年度より利府町からの受託事業として実施。乳幼児健診の結果、より精密に健康診査をp粉宇必要のあると認められる、就学前の乳幼児とその保護者に対して心理職による専門的な相談と検査を実施し、早期発見と適切な指導を行ってきました。

【実施場所】利府町保健福祉センター

【実施日数】年間 回

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数		2	2	2		1	2	
延人数		2	2	2		1	2	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
実人数		1				2	2	12
延人数		1				2	2	14

【スタッフ数】心理職1人 担当保育士1人

5 . 付随事業

(1) 研修に関すること (法人全体人材育成研修以外)

実施日	内 容	場 所	数
8/17,18	サービス管理責任者等基礎研修	オンライン研修	2
5/27	報酬改定について	オンライン研修	2
9/28	レジリエンス研修	オンライン研修	1
10/30 11/13.27	国リハ式 < s s 法 > 言語発達遅滞検査	オンライン研修	1
11/20.21 12/4	相談支援従事者現任研修	オンライン研修	1
1/11	相手目線で考えるコミュニケーション	ハーネル仙台	1
2/14	サービス管理責任者等更新研修	オンライン研修	3

(2) 会議に関すること

実施日	内 容
各 1 回/月	主任会議、どんぐりカフェ、あのね会議、ぼくらの家・みんなの家会議、給食会議、総務会議(随時)

(3) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること

受入日	受入内容等	依頼先・見学者
9/6～27	社会福祉援助技術実習受け入れ	東北福祉大学
10/4～21	社会福祉援助技術実習受け入れ	東北福祉大学
11/1～2	看護実習受け入れ	宮城大学
11/30～12/1	看護実習受け入れ	宮城大学

(4) 防災に関すること

防災・避難訓練

実施日	内 容
5/10～5/14	避難訓練 5日間実施 日中火災想定 参加者：利用児 48人・職員 26人・計 74人
10/14～10/15	避難訓練 2日間実施 日中地震想定 参加者：利用児 22人・職員 12人・計 34人
10/30	避難訓練・グループホーム夜間火災想定・参加者：6人・職員 2人・計 8人
12/5	通信訓練 参加職員 26名

立ち入り検査 コロナ禍のため、電話での聞き取り検査となった。(1/25)

(5) 広報に関すること

【実施状況】どんぐり予定・あのねだより 月 1 回発行

・地域拠点センター

1. 児童福祉法に基づく障害児相談支援事業、並びに障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(1) 地域拠点センターふきのとう(障害児相談支援事業・特定相談支援事業)

【実施状況】									
支援の対象者は原則当法人運営の事業所を利用されている障害児・者とししました。進捗率は、他相談事業所との連携もあり、ほぼ100%となっております。									
【実施日数】 240日実施									
【利用人数】 利用計画とモニタリングも含む									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3年度	実人員	18	17	17	16	17	18		
	延人員	18	17	17	16	17	18		
2年度	実人員	26	25	25	30	23	27		
	延人員	26	25	25	20	23	27		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3年度	実人員	20	21	21	23	22	17		57
	延人員	20	21	21	23	22	17		227
2年度	実人員	29	24	24	20	21	18		58
	延人員	29	24	24	20	21	18		282
【スタッフ数】 相談支援専門員 2人									

2. 障害者総合支援法に基づく指定一般相談支援事業

(1) 地域拠点センターたんぽぽ(地域定着支援)

【実施状況】									
次の項目の「地域生活支援コーディネート業務」に付帯する新規事業として開始し、5年が経過しました。原則上記事業の登録者であり、かつ地域相談支援の支給決定をされた方を対象として、地域生活の見守りを24時間365日体制で行っています。									
【実施日数】 365日実施									
【利用人数】									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3年度	実人員	15	15	15	15	15	15		
	延人員	15	15	15	15	15	15		
2年度	実人員	18	18	18	18	18	17		
	延人員	18	18	18	18	18	17		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3年度	実人員	15	16	16	18	18	19		19
	延人員	15	16	16	18	18	19		192
2年度	実人員	16	16	15	15	15	15		18
	延人員	16	16	15	15	15	15		199
【スタッフ数】 相談員1人(兼務)									

3. その他目的を達成するために必要な事業（自治体委託事業）

（1）地域拠点センターふきのとう（宮城東部地域生活支援拠点等事業業務委託）

1）地域生活支援コーディネーター業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町（塩竈市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町）より委託を受け、実施いたしました。

2市3町行政から要請のあった地域に暮らす障害当事者について、個別に登録面談の機会を設けてアセスメント情報（成育歴・生活の状況・将来の生活への願い・障害の特性について）を細やかに聞き取り、緊急時に必要な支援内容、日常の支援の充実、将来への備えなど、日常の支援の充実のために、行政や担当の相談支援事業者と連携して取り組んでいます。登録数が増えていかないことや、緊急時の受け入れ先の拡大を目指した議論など、行政担当者との会議やプロジェクト会議を通じて、機能強化を図るための働きかけをしてきました。

【実施日数】365日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	21	15	25	27	21	21		
	延日数	39	18	91	74	52	58		
2 年度	実人数	12	39	38	8	18	25		
	延人数	20	70	111	50	38	99		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
3 年度	実人数	22	30	25	25	11	19	63	
	延日数	63	75	36	65	27	103	696	
2 年度	実人数	20	20	23	18	21	25	69	
	延人数	42	44	108	43	62	83	777	

年間

2）地域生活支援コーディネーター調整支援業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町の委託により実施いたしました。

法人内短期入所事業所「みんなの家」（利府こども発達センター内）並びに「さわおとの森短期入所」と連携し、「地域生活支援コーディネーター業務」に係る緊急受入れに備えるとともに、緊急時の相談に際しては、必ず1人以上を受け入れる約束をし、空き状況に応じて2人以上でも受け入れを行っています。本年度は以下のとおり緊急の受入れをいたしました。

【実施日数】365日実施

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3 年度	実人数	2	0	0	0	1	2	
	延日数	4	0	0	0	5	4	
2 年度	実人数	0	0	1	0	1	2	
	延人数	0	0	3	0	2	14	

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
3 年度	実人数	1	1	0	1	0	2	10
	延日数	5	2	0	3	0	8	31
2 年度	実人数	1	0	1	1	1	2	8
	延人数	2	0	9	3	3	7	43

3) 基幹相談支援センター業務

【実施状況】

宮城東部地域2市3町より委託を受け、実施いたしました。

宮城東部地域自立支援協議会の活動の中で、地域住民の声（要望）から課題を抽出し、課題解決に向けて関係機関と連携しました。また、支援が困難になっているケース、地域生活支援拠点等事業の登録者について、行政や相談事業所の求めに応じてのバックアップと、専門的見地からのアドバイスを行い、担当の相談事業所が孤立しないように共働しました。

【実施日数】240日

【利用人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
3 年度	実人数	46	35	50	69	38	32		
	延人数	194	82	191	83	129	107		
2 年度	実人数	22	54	58	29	36	40		
	延人数	147	185	310	270	173	255		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		年間
3 年度	実人数	41	44	40	42	29	33		146
	延人数	127	156	93	141	134	218	1719	
2 年度	実人数	42	33	43	39	45	63	172	
	延人数	190	130	246	207	177	270	2554	

4) 地域自立支援協議会事務局

【実施状況】

宮城東部地域2市3町より委託を受け、宮城東部地域自立支援協議会事務局として、市町の行政担当者と連携し、企画と運営に関わり、会議開催にあたっての連絡調整、記録作成、進捗管理等、庶務の一切を行いました。行政の担当者は数年ごとに異動してしまう中、取組に継続性を持たせるために当事業所の役割は重要性を増しています。基幹相談支援センターの機能と相まって、「誰でも安心して暮らすことができる地域づくり」の推進力となっていくことを目指しています。

令和3年度も前年度の引き続き新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、例年開催していた交流会などのいくつかは中止となりましたが、可能かなぎり取り組みを停滞させないように感染の予防措置を徹底しての研修会の開催や、定例会議に ZOOM を活用するなどの工夫をして実施しました。

【実施日数】240日

【実施件数】

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
3	延件数	30	76	163	88	77	97	
2	延件数	34	68	60	64	58	119	
年度		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
3	延件数	121	73	66	106	101	29	1027
2	延件数	80	44	28	36	35	53	679

【スタッフ数】管理者1人・コーディネーター2人・基幹相談員1人

(2) 障害児等療育支援事業「あとれ・あとれ黒川」(宮城県障害児等療育支援事業)

【実施状況】

1 訪問による療育指導 (実人数:60回 延べ人数:86人)

保護者または支援者の要望に合わせて、所属先の幼稚園・保育所、学校、自宅等への訪問を行いました。行動観察によるアセスメントを行い、心理、言語、身体面等の視点から各々に適した支援方法を検討した上で、支援者間での情報共有を行った。必要に応じて、心理検査や言語検査を実施することもありました。

2 外来による専門的な療育相談・指導 (実人数:45回 延べ人数:59人)

子育てへの不安や、療育・支援に関する相談に応じてきました。内容によっては、外来相談を行った後に、所属先への訪問や心理検査を実施することもありました。言語発達に関する相談では、必要に応じて言語検査を実施しことばの問題を発達の面からもアセスメントをしてきました。また、不登校のケースに関しては保護者との面談を中心に、必要に応じて学校との情報共有や、スクールソーシャルワーカーとの連携を行いました。

3 障害児の通う保育所や放課後児童クラブ、障害児通所支援事業所等の職員の療育技術の指導 (実施回数:7回 実人数:54人 延べ人数:54人)

対象児の特性の見立てや集団の中での関わり方、不適応行動への支援方法等、個別支援を行う際の助言を求められるケースが多かったです。現場の状況や使える資源に沿った支援の方法を検討し合いました。

4 発達障害者地域支援マネジャーとの連携

複雑な家庭環境をもつ発達障害の青年のケースではマネジャーへ支援を要請し、「えくぼ」のSVを受け、障害者就業・生活支援センターとも連携を行いながら対応しました。また、ペアレント・プログラムにおいてはマネジャーのSVを受け、初めて法人内で開催することが出来ました。他にも、複数の支援機関が関わっているケースや教育機関への訪問が必要なケース等で要請を出し、連携して対応しました。

5 家族への支援

ペアレント・プログラムを、圏域内2か所において合計3回実施しました(参加人数は計18名)。実施者養成も行われ、5名がアドバンス研修に参加し指導者資格を取得しています。また、車椅子を利用する児と保護者、支援学校に通う児と保護者がそれぞれ集まり、子同士・親同士が交流したり情報交換を行ったりする等のピアカウンセリングを目的とした会を開催しました。

【事業に伴う成果】

ペアレント・プログラムを実施し、参加者の方から「今後も続けてほしい」「参加してとても良かった」「他の母たちにも是非参加する機会を与えてほしい」等という感想が聞かれました。

実施者の経験が少ないため精神的な負担感は否めなかったが、参加者の方のお子さんにも実際に変化が見られる等、嬉しい成果がありました。安心して子育てに取り組めるような家族支援を目指す上で、ペアレント・プログラムを継続して実施することの有効性を、現場の支援者と共有できたことが何よりも大きな成果です。

個別のケースを通して、地域の保健師や、相談支援専門員、放課後等デイサービスの職員、保育園の職員等との横の繋がりを持ちながら相談にあたることができました。

(3) 宮城県発達障害者地域支援マネージャー配置事業

地域支援体制の構築（担当地域の状況や課題、ニーズ、今年度の取組など）

1 市町村及び事業所等への支援

(1) 第一次支援機関（市町村）との連携を図るために、必要な情報交換や情報共有を行う場を以下のように実施しました。

年度当初に担当圏域への訪問を実施し、前年度実施したアンケートに協力いただいた『各市町村の発達障害に関する相談窓口』の担当者とアンケート結果を基にした話し合いの場を設けました。実際に行われている子育て支援の取り組みを共有するとともに、そこから生じた課題や要望をさらに詳しく聞き取り集約を行い、その内容を基に今年度は未就学児に対応している市町村の担当者向けの研修会を講義とワークスタイルで行いました。33名の参加者があり、発達相談で行われる『新版K式発達検査』の検査項目の意味や見取り方についての研修と、保護者の気持ちに添った話の聴き方と受け止め方についてロールプレイングで体験しながら関わりのコツを学んでもらいました。

市町村担当者や学校、子ども園（保育園等）、相談支援事業所から依頼を受けたケースを通して地域の支援担当者やマネージャーとの連携をはかり、具体的にアセスメント結果の分析と支援方法を協議しながら、現場のアセスメント向上を目指しました。

(2) 一次支援機関において支援技術の向上に関わる研修への関わりについては、富谷市の要請により、放課後児童クラブの指導員向けの研修会に講師として参加しました。発達障害の診断を受けている児童やグレーゾーンの児童への対応の実態を知るため、実際に現場に赴き、児童の活動の様子と指導員の関わり方について見聞すると共にアンケートを実施して指導員の悩みや課題を集約しました。その結果を基に、当日は83名の参加者に対して講話とグループワーク形式の研修も取り入れ体験しながら学ぶ機会を設けました。

(3) 個別支援 <実施回数：147回，対象実人員：45人>

市町村担当者や学校、子ども園（保育園等）、相談支援事業所から依頼を受けたケースを通して地域の支援担当者やマネージャーと連携した面談や行動観察を実施し、その結果の分析と支援方法を協議しながら、現場における当該児の見立ての向上を目指しました。

(4) 人材育成

『発達障害児者への支援が適切に図られていくことを目指し、支援者間での連携の構築を目指す』という狙いを掲げ、1の(1)及び1の(2)に有るような支援活動を通して、担当圏域の人材育成に努めました。

また、次の「家族への支援」にある、保護者へのメンター支援やピアカウンセリングの実施に向けた取り組みを、療育支援事業の担当や、地域の相談支援事業所担当者と共に連携し、行うことが出来ました。

ペアレント・プログラム実施には支援者養成研修の要素もあり、法人内で3名、外部の参加者2名が実技研修とアドバンス研修に参加し、指導者資格を取得しました。今後は地域の中で実施できる支援者養成が実現できると良いと思います。

2 家族への支援 <実施回数：23回，対象実人員：22人>

『保護者の育児不安、将来への不安などへの心理的支援を目指し、具体的な解決方法に繋がっていく』というねらいのもと、ペアレント・プログラムの実施を通して家庭における療育支援の技術援助ができた。参加者の意欲の向上が見られ、家族間での問題意識の共有や同じ児童発達支援事業を利用する保護者同士の繋がりを形成することに役立ちました。

また、家族サロンを実施できました。今年度は肢体不自由児で車いす生活をしているお子さんを持つ親御さんの交流会を実施しました。当該児は高学年ということもあり将来への希望や夢を語り合える場となったことで有意義な交流にすることが出来ました。普段の生活ではなかなか実現できない時間を作る事が出来て、参加者から良い評価を得られました。さらに『先輩ママの話を聞く会』も開き、同じ障害状況に置かれたお子さんの進路について情報を得る機会を作ることが出来たのも成果です。

3 医療機関との連携

圏域に開設された小児科の医師との2回目の情報交換会を実施。マネジャーと、療育支援事業担当者、相談支援事業担当者が参加しました。

前回地域医療機関から個別ケースに関する連携の打診が入り、連携の在り方などを協議し、その後良い形で連携にこぎ着けたケースもありましたが、医療機関受診のニーズが高まり、予約が取れないという状況が生じました。そのため前年に実現した連携支援は難しくなりました。

2. 付随事業

(1) 研修に関すること(法人全体人材育成研修以外) 【ふ】: ふきのとう 【あ】あとれ

実施日	名称	場所	人数
6月12日	【ふ】医ケアコーディネーターフォローアップ研修	宮城県自治会館	1
8月19日	【あ】ペアレントプログラム事前研修会	地域拠点センター	5
9月2日から 隔週で6回	【あ】ペアレントプログラム支援者養成研修会 (ペアレントプログラムの実施含む)	地域拠点センター あかいしの森	延 30
10月5日	【あ】発達障害支援者ディスレクシア研修会	こども総合教育センター	2
10月15日	【ふ】知的障害福祉担当現任職員研修会	県リハセン	1
11月8日	【あ】ペアレントプログラム支援者研修会	石巻合同庁舎	2
11月8日	【ふ】相談支援従事者専門コース別研修	合同庁舎	1
11月10日	【ふ】リスクマネジメント研修	オンライン	1
11月18日	【ふ】利府町児童虐待講演会	利府町保健福祉センター	2
2月14日	【ふ】宮城県サービス管理責任者更新研修	TKPカンファレンスルーム	2

(2) 会議に関すること

全体職員会議 利府こども発達センターと同じ

ふきのとう所内会議 毎月2市3町会議の後に開催

あとれ内会議 年6回実施

その他会議

【ふきのとう】

(自立支援協議会関係)

2市3町行政担当者との会議(毎月) 担当課長会議(1回) 相談支援部会(毎月)

その他協議会に係るプロジェクト会議、ネットワーク会議、ダイレクトB会議等(随時)
(ケース会議)

依頼により随時出席

【あとれ】

県精神保健推進室主催の担当者会 年 3 回実施 (年度始め・中間・終盤)

直営センター主催の担当者会 (技術研修を兼ねて実施の場合もある) 年 4 回程度

圏域担当者会 年 5 回実施

(3) 講師等派遣に関すること

【ふきのとう】

○令和 3 年度宮城県相談支援従事者初任者研修 (行本)

○令和 3 年度宮城県相談支援従事者現任者研修 (行本)

○令和 3 年度宮城県サービス管理責任者基礎研修 (佐藤、佐野)

○令和 3 年度宮城県サービス管理責任者現任研修 (佐藤)

○令和 3 年度宮城県サービス管理責任者更新研修 (佐野)

【あとれ】

○富谷市放課後児童クラブ職員研修会 (齋藤、工藤)

(4) 見学と実習の受け入れ、調査協力、地域貢献等に関すること

○ソーシャルワーク実習受け入れ (東北福祉大学・2 名)

○2 市 3 町手をつなぐ育成会役員会に参加

○2 市 3 町精神障害者家族会役員会に参加 (その他各市町の家族会に参加)

○相談支援従事者初任者研修に係るインターバル研修の受け入れ実施

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金額		内訳
経常収益の部			
1.受取会費収入			
正会員会費	204,000		
賛助会員会費	2,100,000	2,304,000	
2.事業収入			
児童発達支援	113,259,672		
放課後等デイサービス	76,993,417		
保育所訪問	2,313,394		
生活介護	62,153,290		
短期入所	99,527,336		
共同生活	20,064,620		
居宅介護	111,390		
行動援護	5,102,790		
計画相談支援	5,244,450		
地域定着	707,020		
レスパイト	366,500		
市町村委託事業	44,770,405	430,614,284	
3.受取助成金等収入			
助成金	4,431,000	4,431,000	新型コロナ支援事業助成金等
4.受取寄附金収入			
寄附金	2,030,000	2,030,000	
5.雑収入			
預金利息	1,599		
GH家賃収入	540,000		
売電収入	1,374,238		
食事収入	6,785,130		
講師派遣・研修等収入	1,019,100		
その他	1,025,790	10,745,857	おやつ・賄い等
経常収益計			450,125,141
経常費用の部			
1.事業費			
(1)人件費			
職員棒給	304,005,173		正規・契約・パート
職員手当	5,610,054		通勤手当
法定福利費	44,171,637		社会保険等
退職金共済掛金	8,314,520	362,101,384	
(2)その他経費			
報酬費	2,926,902		委託医報酬等
消耗品費	4,251,089		教材他
食料費	7,098,376		短期入所食材費用
修繕費	26,405		施設修繕費
燃料費	3,084,490		灯油代等
水道光熱費	5,020,215		上下水道、電気代等
保険料	6,478,869		公用車車両保険等
備品費	332,444		備品消耗品等
車両費	3,858,597		車検、私用車代等
使用料	6,148,965		セコム等
地代家賃	4,966,550		土地・建物

行事費	-			祭等
旅費交通費	22,970			研究会等旅費
減価償却費	23,197,785			
雑費	60,923	67,474,580	429,575,964	
2.事務費				
(1)人件費				
役員報酬	1,800,000	1,800,000		
(2)その他経費				
委託費	4,219,579			調理業務等
福利厚生費	908,115			予防接種等
研修費	402,330			社会福祉協議会等
渉外費	257,262			謝礼等
会議費	29,759			理事会等
通信費	1,817,765			電話・インターネット・切手等
新聞図書費	123,471			福祉新聞社等
諸会費	56,600			町内会費等
支払手数料	7,302,731			振込手数料等
租税公課	354,750			固定資産税等
寄附金	2,040,620			国境なき医師団等
支払利息	181,019	17,694,001	19,494,001	融資利息
經常費用合計			449,069,965	
税引前当期一般正味財産増減額			1,055,176	
法人税、住民税及び事業税			1,299,000	
当期一般正味財産増減額			-243,824	
前期繰越一般正味財産額			329,663,700	
国庫補助金積立額からの繰入額			10,292,061	
次期繰越一般正味財産額			339,711,937	

事業別活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

勘定科目	<さわおと>	<ひまわり園>	<あかいしの森>	<利府こども>	<地域拠点C>	<本部>	<合計>
[経常収益]							
正会費収入	0	0	0	0	0	204,000	204,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	2,100,000	2,100,000
児童発達支援	0	22,359,820	58,384,222	32,515,630	0	0	113,259,672
放課後等デイサービス	22,008,910	7,752,722	24,091,488	23,140,297	0	0	76,993,417
保育所訪問	0	0	998,690	1,314,704	0	0	2,313,394
生活介護	62,153,290	0	0	0	0	0	62,153,290
短期入所	74,754,014	0	0	24,773,322	0	0	99,527,336
共同生活	0	0	0	20,064,620	0	0	20,064,620
居宅介護	111,390	0	0	0	0	0	111,390
行動援護	5,102,790	0	0	0	0	0	5,102,790
計画相談支援	0	0	4,007,060	0	1,237,390	0	5,244,450
地域定着	12,240	0	0	0	694,780	0	707,020
レスパイト	0	4,000	259,000	103,500	0	0	366,500
自治体委託事業	82,440	0	0	1,989,600	42,698,365	0	44,770,405
助成金収入	6,000	429,000	16,000	4,024,000	32,000	0	4,431,000
寄附金収入	0	0	30,000	0	0	2,000,000	2,030,000
利用者実費	3,791,850	0	804,620	2,188,660	0	0	6,785,130
賄い収入	307,310	80,150	254,880	226,310	16,400	0	885,050
雑収入	73,146	0	1,493,106	568,326	42,000	897,500	3,074,078
受取利息配当金	0	0	0	1	0	1,598	1,599
運営健全化調整費	0	0	0	0	0	0	0
経常収益合計	168,391,380	30,625,692	90,339,066	110,908,970	44,656,935	5,203,098	450,125,141

勘定科目	<さわおと>	<ひまわり園>	<あかいしの森>	<利府こども>	<地域拠点C>	<本部>	<合計>
賃金(正規職員)	79,090,961	22,469,974	68,848,582	67,296,988	29,730,135	0	267,436,640
賃金(契約職員)	3,476,294	0	7,250,556	9,139,754	0	0	19,866,604
賃金(パート職員)	4,608,040	0	0	1,897,389	0	0	6,505,429
賃金(専門職)	1,714,600	180,000	0	0	0	0	1,894,600
賃金(嘱託職員)	2,399,942	0	0	5,716,799	185,159	0	8,301,900
通勤交通費	1,910,780	414,720	1,471,650	1,443,514	369,390	0	5,610,054
法定福利費	16,988,909	4,218,568	9,007,123	9,050,862	4,906,175	0	44,171,637
退職共済掛金	3,080,704	915,903	1,748,547	1,736,546	832,820	0	8,314,520
事業人件費計	113,270,230	28,199,165	88,326,458	96,281,852	36,023,679	0	362,101,384
報償費	155,000	133,644	362,984	238,274	3,000	2,034,000	2,926,902
消耗品費	1,882,155	498,287	746,891	728,533	366,973	28,250	4,251,089
食材費	3,871,703	7,095	781,260	2,428,498	9,276	544	7,098,376
修繕費	0	22,619	3,786	0	0	0	26,405
燃料費	1,521,459	196,044	596,195	696,329	74,463	0	3,084,490
水道光熱費	1,131,492	300,000	1,671,266	1,381,461	535,996	0	5,020,215
保険料	1,398,530	94,560	464,840	834,840	162,630	3,523,469	6,478,869
備品費	173,164	38,280	33,000	88,000	0	0	332,444
車両費	1,261,238	400,632	961,842	805,837	429,048	0	3,858,597
使用料	2,263,552	587,690	1,176,060	1,541,500	454,264	125,899	6,148,965
地代家賃	2,500,000	0	0	2,035,500	431,050	0	4,966,550
雑費	12,383	0	47,000	1,540	0	0	60,923
行事費	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	1,720	4,940	9,620	11,930	1,240	12,760	22,970
減価償却費	12,961,443	61,322	0	8,272,083	1,902,937	0	23,197,785
その他事業費合計	29,133,839	2,345,113	6,835,504	19,064,325	4,370,877	5,724,922	67,474,580
事業費計	142,404,069	30,544,278	95,161,962	115,346,177	40,394,556	5,724,922	429,575,964
役員報酬	0	0	0	0	0	1,800,000	1,800,000
事務人件費計	0	0	0	0	0	1,800,000	1,800,000
委託費(事務)	250,000		3,234,000	635,579	0	100,000	4,219,579
福利厚生費(事務)	238,038	83,683	257,368	225,185	103,841	0	908,115
研修費(事務)	164,770	16,600	51,520	157,440	12,000	0	402,330
渉外費(事務)	52,443	5,218	0	3,000	12,220	184,381	257,262
会議費(事務)	2,337	0	0	0	0	27,422	29,759
通信費(事務)	357,358	108,154	511,530	334,180	357,816	148,727	1,817,765
新聞図書費(事務)	17,529	24,630	8,360	8,360	28,160	36,432	123,471
諸会費(事務)	23,600	0	0	10,000	0	23,000	56,600
支払手数料(事務)	6,256,411	53,622	121,887	180,791	854	689,166	7,302,731
租税公課(事務)	278,300	0	4,500	1,000	4,900	66,050	354,750
寄付金(事務)	2,019,880	0	12,040	8,700	0		2,040,620
支払利息(事務)	117,673	0	38,126	25,220	0	0	181,019
その他事務費計	9,778,339	291,907	4,239,331	1,589,455	519,791	1,275,178	17,694,001
事務費計	9,778,339	291,907	4,239,331	1,589,455	519,791	3,075,178	19,494,001
運営健全化調整費							0
経常経費計	152,182,408	30,836,185	99,401,293	116,935,632	40,914,347	8,800,100	449,069,965
経常損益	16,208,972	210,493	9,062,227	6,026,662	3,742,588	3,597,002	1,055,176
国庫補助金積立額戻入	372,253	0	5,454,203	2,937,562	1,528,043	0	10,292,061
実質的経営損益	16,581,225	210,493	3,608,024	3,089,100	5,270,631	3,597,002	11,347,237

令和3年度 貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日 現在

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金額		
資産の部			
流動資産			
現金	138,674		
普通預金	89,912,780		
郵便貯金	1,088,724		
未収入金	72,870,325		
流動資産合計		164,010,503	
固定資産			
建物	379,165,949		
建物付属設備	53,503,502		
構築物	21,530,070		
車両運搬具	3,610,538		
工具器具備品	2,325,230		
水道施設利用権	1,669,455		
固定資産合計		461,804,744	
投資等			
出資金	1,000		
差入保証金	20,000		
長期前払費用	2,258,667		
保険積立金	7,470,441		
投資等合計		9,750,108	
資産合計			635,565,355
負債の部			
流動負債			
未払金	21,189,283		
未払法人税等	1,299,000		
預り金	6,235,717		
流動負債合計		28,724,000	
固定負債			
長期借入金	74,458,000		
流動負債合計		74,458,000	
負債合計			103,182,000
正味財産の部			
指定正味財産	192,671,418		
指定正味財産計		192,671,418	
国庫補助金積立額			
前期繰越正味財産	329,663,700		
当期正味財産増加額	10,048,237		
一般正味財産計		339,711,937	
正味財産合計			532,383,355
負債及び正味財産合計			635,565,355

令和3年度 財産目録

令和4年3月31日現在

認定NPO法人 さわおとの森

(単位:円)

科目・摘要	金額	
資産の部		
流動資産		
現金・預金		
さわおと現金	61,236	
ひまわり現金	8,140	
利府こども現金	3,240	
あかいし現金	66,058	
七十七銀行七ヶ浜支店(普) No 5271002	83,987,902	
七十七銀行七ヶ浜支店(普) No 9110305	2,004,592	
七十七銀行利府支店(普) No 5007287	3,920,286	
郵便貯金 18110-30532021	1,088,724	
未収入金		
給付費	65,783,358	
その他	7,086,967	
流動資産合計		164,010,503
固定資産台帳	461,804,744	
固定資産合計		461,804,744
投資等		
出資金 東北自動車共済	1,000	
差入保証金 セコム(株)	20,000	
長期前払費用 扶桑電通	2,258,667	
保険積立金 (株)ING生命	7,470,441	
投資等合計		9,750,108
資産合計		635,565,355
負債の部		
流動負債		
未払金		
令和4年3月分給与	16,070,515	
その他	5,118,768	
未払法人税等	1,299,000	
預り金		
令和4年3月 社会保険	4,871,730	
令和4年3月 源泉所得税	410,287	
令和4年3月 住民税	898,700	
財形貯蓄	55,000	
流動負債合計		28,724,000
固定負債		
長期借入金		
福祉医療機構	6,222,000	
地域総合整備資金	19,048,000	
七十七銀行	20,000	
七十七銀行	49,168,000	
固定負債合計		74,458,000
負債合計		103,182,000
正味財産		532,383,355